

## 平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 日本高周波鋼業株式会社  
 コード番号 5476 URL <http://www.koshuha.co.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 池田 辰雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長 (氏名) 田中 慶壽  
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月12日

TEL 03-5687-6025

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	13,908	—	260	—	250	—	137	—
20年3月期第1四半期	13,657	22.6	590	△15.0	552	△20.1	372	△6.7

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年3月期第1四半期	0.94	—	—	—
20年3月期第1四半期	2.54	—	—	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円	百万円	円	%	円	銭	
21年3月期第1四半期	50,748	—	21,642	—	42.6	147.50	—	
20年3月期	49,621	—	21,954	—	44.2	149.62	—	

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 21,642百万円 20年3月期 21,954百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	—	—	3.50	3.50
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	3.50	3.50

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
第2四半期連結累計期間	29,000	—	950	—	850	—	450	—	3.07
通期	60,500	13.2	2,650	△1.4	2,500	△0.2	1,750	△5.9	11.93

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第1四半期	146,876,174株	20年3月期	146,876,174株
② 期末自己株式数	21年3月期第1四半期	145,992株	20年3月期	143,404株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第1四半期	146,731,678株	20年3月期第1四半期	146,752,457株

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 連結業績予想は、第2四半期連結累計期間、通期とも平成20年4月25日に公表いたしました予想から修正しておりません。

(2) 業績予想につきましては、当社が現状で判断しうる一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がありますことをご承知おきください。

(3) 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準 第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針 第14号)を適用しております。また「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期のわが国経済は原油をはじめとする資源インフレに直面し、これが企業収益を押し下げるとともに家計を圧迫し、景気は新興国向けを中心とした輸出の下支えがあるものの、設備投資や個人消費の停滞によって減速感が拡大しています。

鉄鋼業界においては需要が依然堅調に推移し、本年上半期（1-6月）の粗鋼生産量は6,190万トン（前年同期比4.2%増）となり、73年（7-12月）を抜いて35年ぶりに史上最高となりました。特殊鋼業界においても、同期間の特殊鋼熱間圧延鋼材の生産量が1,138万トンとなり、暦年半期ベースで史上最高を記録しました。

このような環境下で、主原料である鉄スクラップが今年に入りトン当たり4万円台から足元7万円台に一本調子に急騰を続けるなど、当社グループは期初予想を上回る未曾有のコスト増大に見舞われる厳しい状況となっています。この状況に対して如何に対処するかが、当社グループの喫緊の課題となっている中、当第1四半期の連結売上高は販売価格の改善によって前年同期に比べ251百万円（1.8%）増加し、13,908百万円となりました。連結経常利益は302百万円減少し、250百万円となりました。これは急激な原料・燃料価格の上昇に製品販売価格の改善が追いついていないことや、固定費の増大、円高による影響などによるものであります。

事業の種類別セグメントの状況は次のとおりであります。

#### [特殊鋼]

ニッケル価格の下落により関連製品価格の下落、買い控えに伴う数量減があったものの、工具鋼をはじめとした需要は堅調に推移しました。また、鉄スクラップ価格及びクロムの高騰による販売価格の是正があり、売上高は11,099百万円（前年同期比0.4%減）となりました。営業利益は原料・燃料の高騰に対し販売価格の改善を進めましたが、328百万円減少して121百万円（前年同期比72.9%減）となりました。

#### [鑄鉄]

売上高は主力の自動車関連製品が堅調に推移したことに加え、販売価格の改善や数量増により285百万円増加し、2,148百万円（前年同期比15.3%増）となりました。営業利益は原料のコストアップ影響で20百万円減少し、115百万円（前年同期比15.4%減）となりました。

#### [金型・工具]

主力の金型製品の受注拡大に注力し、売上高は660百万円（前年同期比1.4%増）となり、営業利益は工場建物・土地を自社保有に切り替えた賃借料削減効果によって19百万円増加し、23百万円（前年同期比385.1%増）となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期末の総資産はたな卸資産の増加等により50,748百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,127百万円増加しました。

当第1四半期末の負債合計は支払手形及び買掛金の増加等により29,105百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,439百万円増加しました。

当第1四半期末の純資産合計は配当金の支払等により21,642百万円となり、前連結会計年度末に比べ311百万円減少しました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の44.2%から42.6%となりました。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ362百万円増加し、1,534百万円となりました。

当第1四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益239百万円、減価償却費491百万円、売上債権の減少223百万円、仕入債務の増加1,459百万円等により増加した一方、たな卸資産の増加996百万円、法人税等の支払745百万円等により減少しました。この結果、営業活動によるキャッシュ・フローは1,361百万円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有形固定資産の取得414百万円等により、390百万円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払513百万円、長期借入金の返済72百万円等により、608百万円の支出となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

鉄スクラップやレアメタルなどの原料・燃料の価格動向など、当社グループをとりまく経済環境の今後の動向は予断を許さない状況にあり、先行きの見極めが難しいため、今回は平成20年4月25日公表の業績予想を修正せず据え置いております。第2四半期決算発表時点までに見直しを行なう予定であります。

### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

四半期連結会計期間末における棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し前連結会計年度に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	507	281
受取手形及び売掛金	10,948	11,171
製品	3,128	3,035
仕掛品	6,157	5,858
原材料及び貯蔵品	5,339	4,735
その他	1,974	1,706
流動資産合計	28,056	26,788
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具	7,774	7,982
土地	8,497	8,497
その他	4,469	4,491
有形固定資産合計	20,741	20,970
無形固定資産	128	104
投資その他の資産		
投資有価証券	1,221	1,112
その他	600	644
投資その他の資産合計	1,821	1,756
固定資産合計	22,691	22,832
資産合計	50,748	49,621
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,762	10,355
短期借入金	4,996	4,996
未払法人税等	163	814
賞与引当金	170	613
その他	4,475	3,143
流動負債合計	21,567	19,922
固定負債		
長期借入金	39	61
再評価に係る繰延税金負債	2,370	2,370
退職給付引当金	4,554	4,687
引当金	59	183
その他	513	442
固定負債合計	7,537	7,744
負債合計	29,105	27,666
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,669	15,669
資本剰余金	1,728	1,728
利益剰余金	3,238	3,614
自己株式	△22	△22
株主資本合計	20,613	20,990
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	294	230
土地再評価差額金	734	734
評価・換算差額等合計	1,029	964
純資産合計	21,642	21,954
負債純資産合計	50,748	49,621

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
売上高	13,908
売上原価	12,486
売上総利益	1,421
販売費及び一般管理費	1,161
営業利益	260
営業外収益	
受取配当金	21
受取賃貸料	17
その他	38
営業外収益合計	77
営業外費用	
支払利息	21
売上債権売却損	20
出向者人件費負担金	20
その他	24
営業外費用合計	87
経常利益	250
特別損失	
固定資産処分損	11
特別損失合計	11
税金等調整前四半期純利益	239
法人税、住民税及び事業税	101
四半期純利益	137

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	239
減価償却費	491
退職給付及び役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△256
売上債権の増減額 (△は増加)	223
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△996
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,459
その他の資産・負債の増減額	945
小計	2,106
法人税等の支払額	△745
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,361
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△414
利息及び配当金の受取額	24
その他	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△390
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△72
自己株式の取得による支出	△0
配当金の支払額	△513
利息の支払額	△22
財務活動によるキャッシュ・フロー	△608
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	362
現金及び現金同等物の期首残高	1,171
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,534

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	特殊鋼 (百万円)	鋳鉄 (百万円)	金型・工具 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全 社(百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	11,099	2,148	660	13,908	—	13,908
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	67	11	10	89	(89)	—
計	11,166	2,160	670	13,997	(89)	13,908
営業費用	11,044	2,045	646	13,737	(89)	13,647
営業利益	121	115	23	260	—	260

(注) 1 事業区分は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2 各事業の主な製品

(1) 特殊鋼……………鍛鋼品（ダイス鋼、プラスチック金型用鋼、その他精密鍛造材）

特殊鋼圧延鋼材・同二次加工品（軸受鋼、特殊ステンレス鋼、特殊合金）

その他（加工品、ビレット、その他）

(2) 鋳鉄……………自動車部品、建設機械部品、合金鉄製造用の鋳型等各種鋳物製品（ダクタイル鋳物、普通鋳物）

(3) 金型・工具……………各種金型及び金型部品、各種特殊工具、完成バイト、付刃バイト、精密バイト、一般切削工具

b. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

c. 海外売上高

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	1,511	39	1,551
II 連結売上高（百万円）			13,908
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	10.9	0.3	11.2

(注) 1 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) アジア …………… タイ、台湾、韓国、中国 他

(2) その他の地域 …… アメリカ合衆国 他

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

[参考資料]

前第1四半期に係る財務諸表等

(1) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前第1四半期 (19.4.1~19.6.30)
1. 売上高	13,657
2. 売上原価	11,997
売上総利益	1,659
3. 販売費及び一般管理費	1,069
営業利益	590
4. 営業外収益	63
受取利息及び配当金	25
賃貸料	9
その他	29
5. 営業外費用	101
支払利息	19
出向者人件費負担金	19
その他	62
経常利益	552
6. 特別損失	6
固定資産処分損	6
税金等調整前四半期純利益	546
法人税、住民税及び事業税	173
法人税等調整額	—
四半期純利益	372



(2) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期(平成19年4月1日～平成19年6月30日)

(単位:百万円)

	特殊鋼	鋳鉄	金型・工具	計	消去 又は全社	連結
1. 売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	11,142	1,863	651	13,657	—	13,657
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	60	3	7	71	( 71)	—
計	11,203	1,867	658	13,728	( 71)	13,657
営業費用	10,753	1,731	653	13,138	( 71)	13,067
営業利益	449	135	4	590	—	590

(注) 1. 事業区分は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各事業の主な製品

- (1) 特殊鋼 …… 鍛鋼品(ダイス鋼、プラスチック金型用鋼、その他精密鍛造材)  
特殊鋼圧延鋼材・同二次加工品(軸受鋼、特殊ステンレス鋼、特殊合金)  
その他(加工品、ビレット、その他)
- (2) 鋳鉄 …… 自動車部品、建設機械部品、合金鉄製造用の鋳型等各種鋳物製品  
(ダクタイル鋳物、普通鋳物)
- (3) 金型・工具 …… 各種金型及び金型部品、各種特殊工具、完成バイト、付刃バイト、精密バイト、一般切削工具